



お問い合わせは、  
(☎63・3802)まで。

## 11月11日～17日は「税をきえる週間」

この機会に、税金についてお気軽にご相談ください。

■税理士による無料相談所の開催

【とき】 11月15日(水)

10時～16時

【場所】 オークワロマンシティ  
1階エレベーターホール前

## 税金のしくみを正しく理解すると 抽選で賞品が当たる！

■応募用紙設置場所

御坊納税協会、御坊税務署、御坊市役所・日高郡内町役場税務課

■応募対象者

御坊市内または日高郡内に在住・在学の方

■応募期間

11月1日(水)～17日(金)

■応募方法

応募ハガキを御坊納税協会へ郵送するか、御坊税務署、御坊市役所・日高郡内町役場税務課窓口にて提出してください。

■郵送先

〒644・0002

御坊市蘭419番地9

御坊納税協会

## 「転出される方へ」 バイクや軽自動車の 名義変更・廃車手続きを お忘れなく

バイクを

お持ちの場合

町外へ転出される方で、お持ちのバイクを転出先でも使用される場合や、お持ちのバイクを町内の方が使用される場合は、必ず税務課で手続きを行ってください。(※)



## — 税務署からのお知らせ —

### ☆年末調整説明会を開催します☆

平成29年分の年末調整説明会を下記のとおり開催します。

日時	会場
平成29年11月16日(木) 13:30～15:30	御坊市民文化会館
平成29年11月22日(水) 13:30～15:30	JAアグリセンターみなべ

### e-Taxとダイレクト納付のご利用で 源泉所得税の納付がもっと便利に！

源泉所得税の納付手続等については、e-Taxを利用することで、所得税徴収高計算書の提出から納付までを税務署や金融機関へ向くことなく、自宅やオフィスで簡単に行うことができます。なお、源泉所得税の手続のみを利用する場合は、電子証明書を取得・登録する必要はありません。また、納付すべき税額がない場合(納付税額0円)の徴収高計算書データについても送信することができます。

【お問い合わせ先】 御坊税務署 (☎22・0697)

※(125CC以下のバイクは税務課で、125CC超のバイクは和歌山運輸支局での手続きになります)

に車検証の住所変更の手続きを軽自動車検査協会で行ってください。

### 軽自動車をお持ちの場合

町外へ転出される方で、お持ちの軽自動車を転出先でも使用される場合は、住所変更後15日以内

※なお、既にバイク・軽自動車を所有していなくても廃車手続きをしないと軽自動車税が課税されますので、お心当たりの方は税務課にご相談ください。

# 11月・12月は「合同滞納整理強化月間」!

●町税の納付忘れは  
ごさいませんか?

町、県および和歌山地方税回収機構では、11・12月を合同の「滞納整理強化月間」として、税収確保および納期内に納税いただいた方との公平を確保するため、滞納者の財産の差押えを集中的に実施するなど、合同で滞納整理の強化に取り組みます。

納期限を過ぎていないにもかかわらず、納付されていない方は、至急、金融機関で納付してください。

また、何らかの事情で納付できない方は、未納のまま放置することなく、納税方法について税務課まで必ずご相談ください。

## 【夜間納税および

### 相談窓口の開設】

下記のとおり、夜間の納税および相談窓口を開設しますのでご利用ください。



●町税は納付期限内に  
納付しましょう

日時：平成29年11月16日(木)

17日(金)

12月21日(木)

22日(金)

場所：役場別館1階 税務課

町税は自主的に納期限内に納付することが原則です。

納期限までに町税を納付しない場合は、督促状が送付されます。督促状を発送した日から10日を経過した日までに、この町税にかかる徴収金を完納しない場合には、滞納処分(差押え)を受けることとなります。

※徴収金とは、本税に延滞金、督促手数料などを合わせたものです

詳しくは、税務課(☎633・3802)まで。

## 記帳・帳簿等の 保存制度の対象が 拡大されています

対象となる方

事業所得、不動産所得または山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

(所得税の申告の必要のない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります)

記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入

れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載します。

帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

詳しくは、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)または、御坊税務署個人課税部門(☎22・1052)まで。

## 紀勢本線を利用しよう

電車は、子どもから高齢の方まで誰もが利用しやすく、特に車を運転しない人にとってはなくてはならない大切な交通手段です。



しかし、近年道路交通網の進展により、紀勢本線の乗降客数は年々減少しています。生活基盤であることはもとより、地域振興や産業振興にとっても欠かせない紀勢本線を、地域で支えることも必要です。私たち地域の鉄道を守るためにも、旅行などお出かけの際には、

- ☆ 安全性が高い
- ☆ 地球環境への影響が少ない
- ☆ 渋滞なしで時間に正確

といった利点の多い電車を、ぜひご利用ください。

【紀勢本線活性化促進協議会】